SONY

テレビサイドPC

VGX-TP1シリーズ

お使いになる前に必要な
接続と設定ガイド



VAIO

VAIOを使うための接続と設定

本機を使い始める前に、以下の準備をしましょう。

接続

接続1：テレビに接続する
HDMIとは？
8ページ

接続2：ワイヤレスLANアンテナを接続する
9ページ

接続3：B-CASカードを入れる（デジタルテレビチューナー搭載モデル）
10ページ

接続4：アンテナに接続する（デジタルテレビチューナー搭載モデル）
12ページ

接続5：リモコンを準備する
14ページ

接続6：電源コンセントに接続する
15ページ

設定

設定1：電源を入れる 16ページ

設定2：キーボードを準備・コネクトする 18ページ

設定3：Windowsを準備する 21ページ

設定4：画像の大きさや表示を調整する 27ページ

解像度とは？
オーバースキャンとは？
リフレッシュレートとは？

設定5：インターネット／ネットワークの設定をする 33ページ

インターネットとは？
ホームネットワークとは？

続けて設定6から8を行うと、VAIOを使うための準備が完了します。

目次

VAIOを使うための接続と設定 …… 2
付属品を確かめる …… 6

設置・接続

設置について …… 7
設置に適さない場所 …… 7
設置時のご注意 …… 7
接続1 テレビに接続する …… 8
接続2 ワイヤレスLANアンテナを接続する …… 9
接続3 B-CASカードを入れる(デジタルテレビチューナー搭載モデル) …… 10
接続4 アンテナに接続する(デジタルテレビチューナー搭載モデル) …… 12
本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合 …… 12
すでにデジタルレコーダーやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合 …… 13
接続5 リモコンを準備する …… 14
接続6 電源コンセントに接続する …… 15
リアカバーを取り付ける …… 15

設定

設定1 電源を入れる …… 16
電源を切るには …… 17
設定2 キーボードを準備・コネクトする …… 18
ご使用になる環境について …… 18
キーボードに乾電池を入れる …… 18
キーボードをコネクトする …… 19
設定3 Windowsを準備する …… 21
設定4 画像の大きさや表示を調整する …… 27
解像度設定ユーティリティを使う …… 28
コントロールパネルで解像度を設定する …… 29
オーバースキャンを調整する …… 30
BRAVIAの設定を使う …… 31
表示のちらつきを抑える …… 31
設定5 インターネット／ネットワークの設定をする …… 33
本機をワイヤレスLANに接続する前に …… 34
ワイヤレスLANアクセスポイントを使って通信する …… 34
インターネットに接続できないときは …… 36
設定6 基本設定をする …… 37
VAIOをはじめる前の準備を行う …… 37
VAIO オリジナル機能の設定を行う …… 38
設定7 カスタマー登録する …… 39
VAIOカスタマー登録について …… 39
VAIOカスタマー登録の特典 …… 39
VAIOカスタマー登録の方法 …… 40
設定8 最新情報を自動的に入手する …… 41
「VAIO Update」とは …… 41
「VAIO Update」を設定する …… 41
「VAIO Update」を利用する …… 42

「VAIO 電子マニュアル」には、接続と設定ガイド（本書）より
さらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

その他の準備

外部ディスプレイに接続する …… 44
AVアンプなどのデジタル機器を接続する …… 46
インターネット接続用機器に接続する …… 47

インターネット・ネットワークの用語集 …… 48
画面で見るマニュアルの使いかた …… 54
VAIO 電子マニュアルの使いかた …… 54
ソフトウェアの探しかた …… 55
VAIO ナビの使いかた …… 55

本機のマニュアルについて

接続と設定が終わったら、「取扱説明書」、「デジタル放送取扱説明書」、「VAIO 電子マニュアル」をご覧になり、操作を始めましょう。

取扱説明書



基本的な操作、増設やバックアップについて、よくあるご質問やサポート情報などが書かれています。

デジタル放送取扱説明書



（デジタルテレビチューナー搭載モデルのみ）

デジタル放送のセットアップや基本的な視聴方法を解説しています。

VAIO 電子マニュアル



詳細な操作情報が書かれています。検索機能を使って、すばやく目的の操作を探せます。また、サポートホームページの情報も見ることができます。
起動する方法や使いかたについて詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

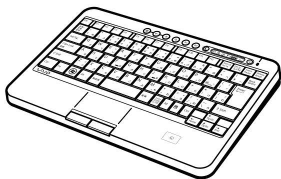
付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

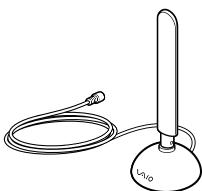
❑ **ポインティングデバイス付きワイヤレスキーボード**
以下「キーボード」と略します。



❑ **リモコン**

❑ **単3形乾電池**
- キーボード用アルカリ乾電池(4)
- リモコン用マンガン乾電池(2)

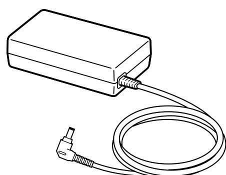
❑ **ワイヤレスLANアンテナ**



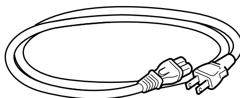
❑ **リアカバー**



❑ **ACアダプタ**

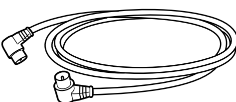


❑ **電源コード**

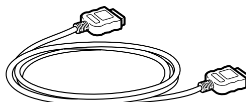


!ご注意
付属の電源コードは、AC100V用です。

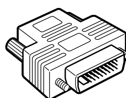
❑ **アンテナ接続ケーブル**
(デジタルテレビチューナー搭載モデルに付属)



❑ **HDMIケーブル**



❑ **HDMI－DVI-D変換アダプター**



説明書・その他

❑ **接続と設定ガイド(本書)**

❑ **取扱説明書**

❑ **主な仕様と付属ソフトウェア**

❑ **デジタル放送取扱説明書**
(デジタルテレビチューナー搭載モデルに付属)

❑ **B-CASカード**
(デジタルテレビチューナー搭載モデルに付属)

❑ **保証書**
修理の際に必要になります。

❑ **VAIOカルテ**
修理の際に必要になります。

❑ **その他のパンフレット類**
大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

❑ **Microsoft® Office Personal 2007*1プレインストールパッケージ**
(「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)

❑ **Microsoft® Office PowerPoint® 2007*2 プレインストールパッケージ**
(「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)

❑ **Microsoft® Office Professional 2007*3 プレインストールパッケージ**
(「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属)

お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「ソフトウェアの使いかた」－「ソフト紹介／問い合わせ先」－「本機に付属されているソフトウェア」で、「ワープロ・表計算」をご覧ください。

*1 この説明書では以降、Office Personal 2007と略します。
*2 この説明書では以降、Office PowerPoint 2007と略します。
*3 この説明書では以降、Office Professional 2007と略します。

ヒント
- 本機の主な仕様と付属のソフトウェアについては、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。詳しくは取扱説明書の「リカバリする」をご覧ください。

設置について

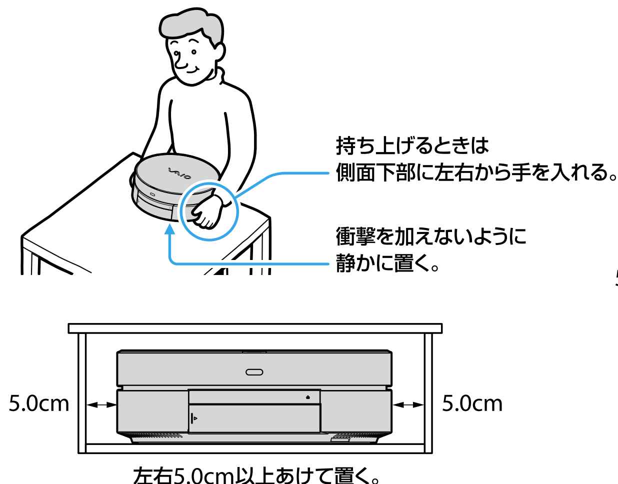
設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

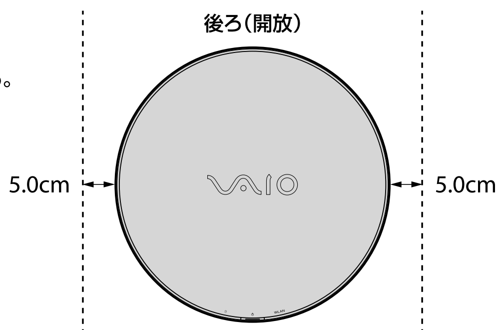
- 直射日光が当たる場所
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く
- 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 風通しが悪い場所

設置時のご注意

次のことをお守りください。



左面の底部、側部、および後面の通風孔をふさがない。
平らで固い台に設置して、下部の隙間を物などでふさがない。



熱が内部にこもり、火災や故障の原因となるため、
全体を密閉しない。後面の冷却用ファンと、
左面側部と底部のファン通気孔から充分空気が
抜けるように開放状態にする。

故障を避けるためにも、次のことをお守りください。

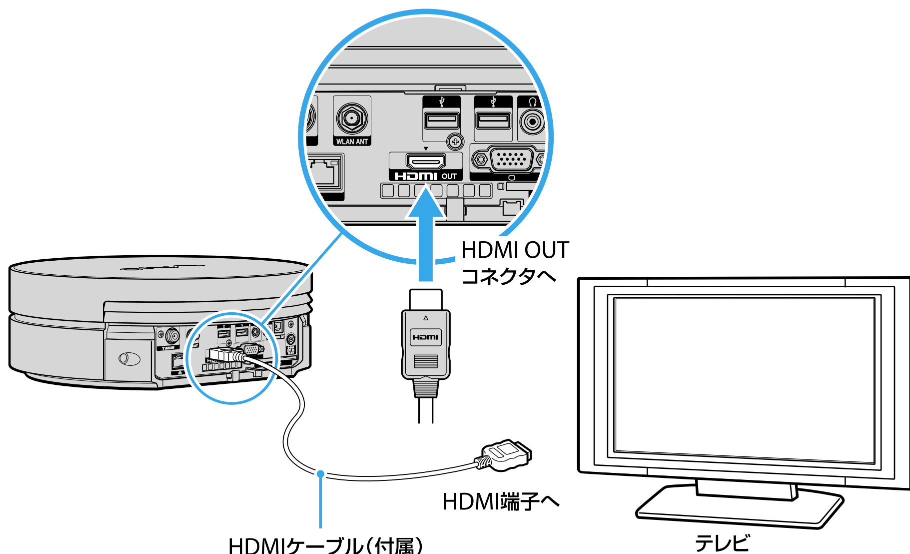
- 本機を移動するときは、必ず電源を切る。
  電源が入っている状態で移動したり、動かしたりするとハードディスクの故障の原因となります。
  移動するときは、接続ケーブルをすべて取りはずしてください。
- 本機を倒したり、ぶつけたりしない。
  小さな衝撃や振動でもハードディスクの故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置しない。
- 通風孔に物を置かない。
- 縦置きしない。
  本機を縦置きすると、状態が不安定となり、転がって故障したり、周囲を傷つけたりすることがあります。
- 本機の上に磁力のあるものを置かない。
- 本機の上に乗らない、指定以外の製品を乗せない。
  本機の上に下記以外の製品を乗せないでください。また、2台以上積み重ねないでください。
  - 地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー　VGF-DT1
  - テレビサイドPC　VGX-TP1シリーズ

  倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。また、積み重ねによる変色が生じることがあります。

別冊の取扱説明書に記載されている、設置の際の安全上の注意事項もご覧ください。

テレビに接続する

本機のHDMI OUT（エイチディーエムアイ出力）コネクタと、テレビのHDMI端子を、HDMIケーブル（付属）で接続します。本機のモニタコネクタまたはHDMI－DVI-D変換アダプター（付属）を使ってディスプレイと接続する方法については、「外部ディスプレイに接続する」（44ページ）をご覧ください。



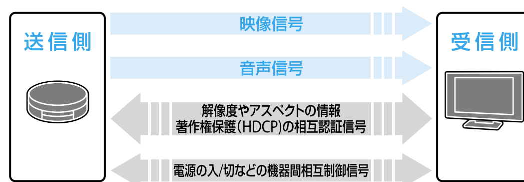
！ご注意

- HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格対応が再生または出力の要件になっているコンテンツを利用される場合は、HDCP規格対応のテレビとあわせてご利用ください。
- プラズマテレビを接続した場合、画面の焼きつきが起こる可能性があります。
- 映像や音声に関わるデバイスドライバをアップデートする場合、ソニーが提供するデバイスドライバ以外のものを使用すると、映像が表示されなくなったり、音声が出なくなったりします。アップデートには必ずソニーが提供するデバイスドライバを使用してください。
- HDMIに対応したテレビを接続したときに選択できるサンプリング周波数などは、接続しているテレビによって変化します。
  設定方法については、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオ本体の使いかた]－[音声]－[音声の出力先を変更する]をクリックする。）
- HDMI OUTコネクタに機器をつないだときに音声が出ない場合には、音声の出力先を確認してください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオ本体の使いかた]－[音声]－[音声の出力先を変更する]をクリックする。）

HDMIとは？

HDMIとは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、映像と音声を1本のケーブルで伝送できるインタフェース規格です。映像と音声の信号はデジタル信号でやりとりされるため、ノイズや信号の劣化が少ないのが特長です。
映像や音声の信号に加えて、著作権の相互認証や制御信号の送受信にも対応しているため、HDMI機器制御機能を利用することもできます。

HDMIが伝送する信号は4種類

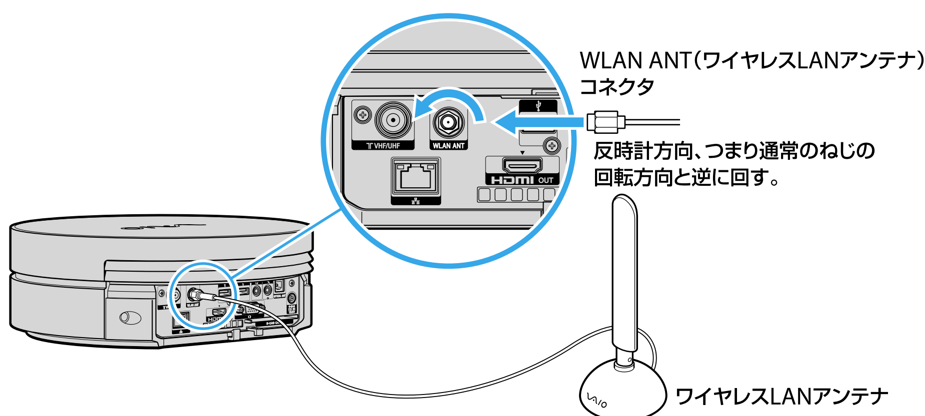


ワイヤレスLANアンテナを接続する

ワイヤレスLANを使用する場合は、本体後面のWLAN ANT(ワイヤレスLANアンテナ)コネクタにワイヤレスLANアンテナをつなぎます。
本機専用のネジ式コネクタのため、接続の際はワイヤレスLANアンテナの端子を反時計方向、つまり通常のねじの回転方向と逆に回してください。

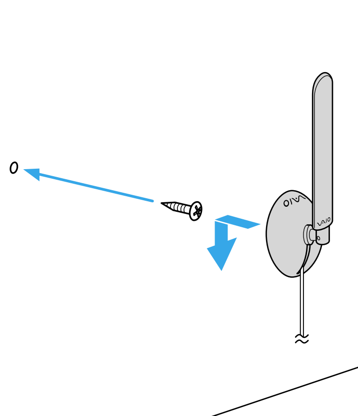
!ご注意

- ワイヤレスLANの設定については、「インターネット／ネットワークの設定をする」(33ページ)、および「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[LAN ／ワイヤレスLAN]をクリックする。)
- 本体の上にワイヤレスLANアンテナを置かないでください。
- ワイヤレスLANアンテナは本体から30cm以上離して設置してください。



ヒント

付属しているネジなどを利用して、ワイヤレスLANアンテナを壁にかけることもできます。



!ご注意

- アンテナの周辺に物(特に金属や水分を含むもの)を置くと電波が飛びにくくなります。アンテナの周辺には物を置かないようにしてください。
- 通信相手との間に障害物(特に金属や水分を含むもの)があると電波が到達しにくくなります。アンテナはできるだけ高い位置に設置し、障害物を避けるようにしてください。
- アンテナの向きにより電波が到達しにくくなる場合があります。軽く指で動かせる範囲内でアンテナの向きを変えることが可能です。

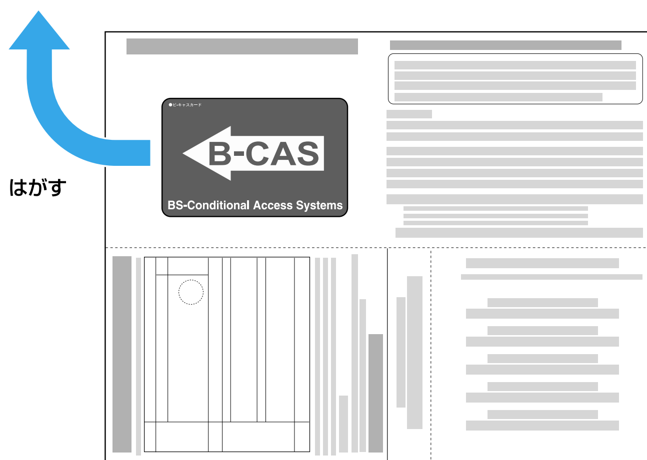
B-CASカードを入れる
(デジタルテレビチューナー搭載モデル)

B-CAS*カード(デジタル放送用ICカード)はお客様と地上デジタルの放送局をつなぐカードです。
B-CASカードを挿入していないと、番組の著作権保護のため、デジタル放送はスクランブルがかかって視聴することができません。
デジタル放送を視聴するときは、必ずB-CASカードを挿入してください。
デジタル放送では、このカードを利用したCAS(限定受信システム)が採用されています。ご登録いただくと各種サービスが利用できるようになります。
B-CASカードを本機に入れたあと、ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函してください。
また、有料番組やPPV番組を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。

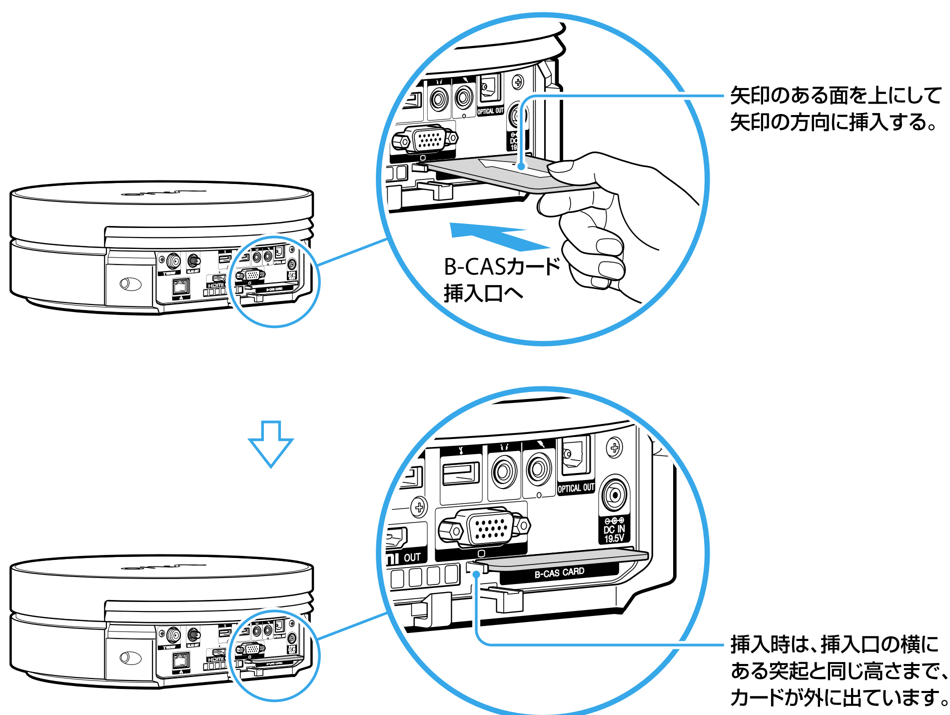
* B-CASは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

!ご注意
ユーザー登録しないと、有料番組が視聴できなかったり、データ放送の双方向サービスが受けられなかったりします。また、連絡先不明のため、カードの交換や更改などのサービスが受けられません。

① 同梱の「ビーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。
B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号:0570-000-250)へお問い合わせください。



② B-CASカードを挿入する。
本機後面のB-CASカード挿入口にB-CASカードを挿入します。



！ご注意

B-CASカードは奥まで挿入すると「カチッ」と音がします。確実に奥まで挿入してください。

③ 同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する。
B-CAS用ユーザー登録はがきの登録作業が終了すると、各種サービスが利用できるようになります。

！ご注意

- B-CAS用ユーザー登録はがき台紙は、大切に保管しておいてください。有料放送に視聴を申し込むときに必要なバーコードシールが付いていたり、B-CASカスタマーセンターへのお問い合わせ先が案内されているためです。
- 転居などの際は、B-CASカスタマーセンターに連絡してください。

ヒント

以下のようなメッセージが表示されることがあります。（ICカードとはB-CASカードのことです。）

- 「ICカードとのアクセスが成立しません ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください：XXXX」
  - B-CASカードが奥までしっかり入っていない。
  - B-CASカードが前後または表裏逆に入っている。
  - B-CASカードが破損している。
  - B-CASカードとは別の種類のカードが入っている。
  - ご覧になっている放送局のカスタマーセンター、またはB-CASカスタマーセンター（電話番号：0570-000-250）へお問い合わせください。
- 「ICカードを入れてください」
  - B-CASカードが奥までしっかり入っていない。

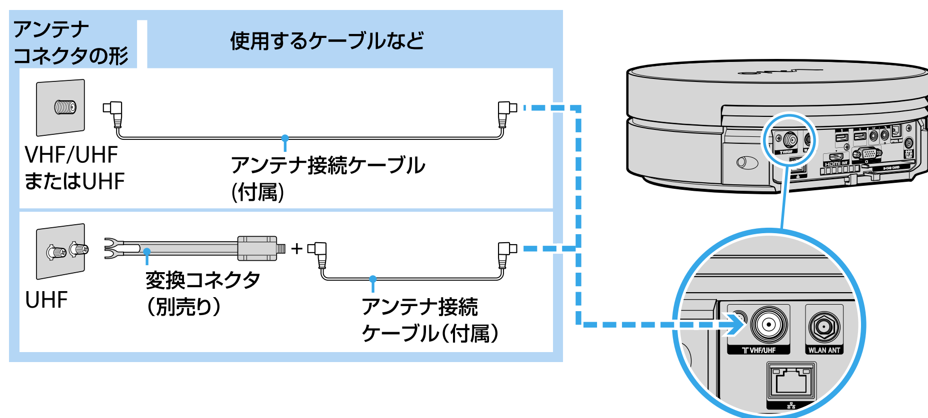
アンテナに接続する（デジタルテレビチューナー搭載モデル）

テレビを見たり、録画するときは、あらかじめケーブル類などを接続しておく必要があります。
なお、受信できる地上波チャンネルはVHF（1ch-12ch）、CATV（C13ch-C63ch）、UHF（13ch-62ch）です。
接続のしかたは、以下の場合で異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて接続してください。

- 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合
- すでにデジタルレコーダーやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

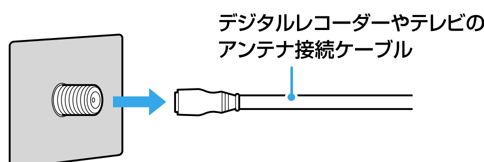
本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合

アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。



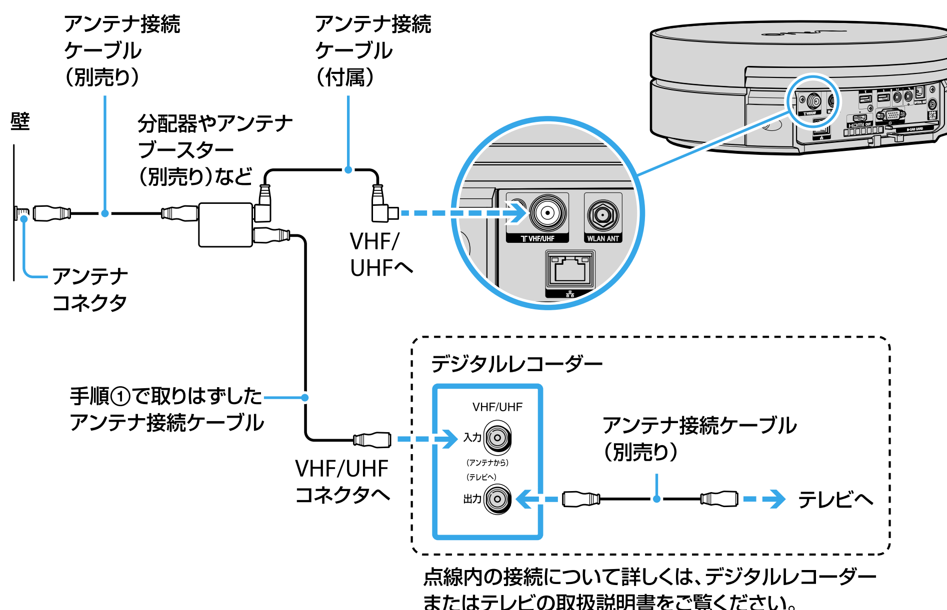
すでにデジタルレコーダーやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

① 壁のアンテナコネクタに接続されているデジタルレコーダーやテレビのアンテナ接続ケーブルを取りはずす。



② アンテナを接続する。

別売りの分配器やアンテナブースターなどを使ってアンテナを接続します。壁のアンテナコネクタと分配器やアンテナブースターのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合」に記載の例から、最も近いものを選び接続してください。



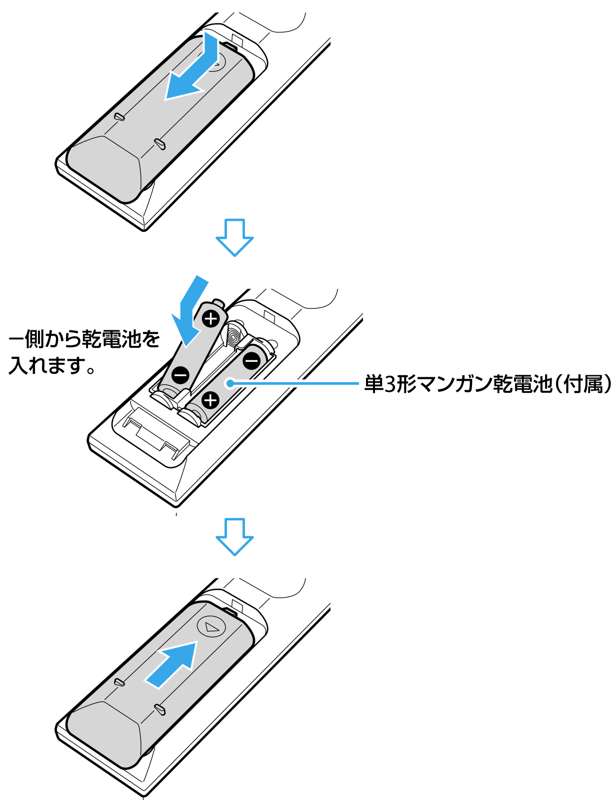
ヒント

デジタルレコーダーをつなぐなど、アンテナを分配すると電波が弱くなり、ディスプレイの画面がチラチラしたり、斜めじまが入ることがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテナと本機の間につないでください。

デジタル放送を視聴するための設定やソフトウェアの使いかたは、別冊の「デジタル放送取扱説明書」をご覧ください。

リモコンを準備する

リモコンを裏返して、裏面の乾電池入れのふたを開けます。＋と－の方向を確かめてから、付属の単3形マンガン乾電池を2本入れて、ふたを閉めてください。



!ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- 乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。新しい乾電池と使い古しの乾電池を混ぜたり、異なる種類の乾電池（マンガン乾電池とアルカリ乾電池という組み合わせなど）を混ぜて使用すると「液もれや破損」の原因となります。
- 長い間リモコンを使わないときは乾電池を取り出してください。
- 残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。電池容量がなくなったあとも機器に入れたままにしておくと液もれを起こす原因となります。
- 乾電池が液もれしたときは、乾電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。乾電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液をふく際はご注意ください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。

ヒント

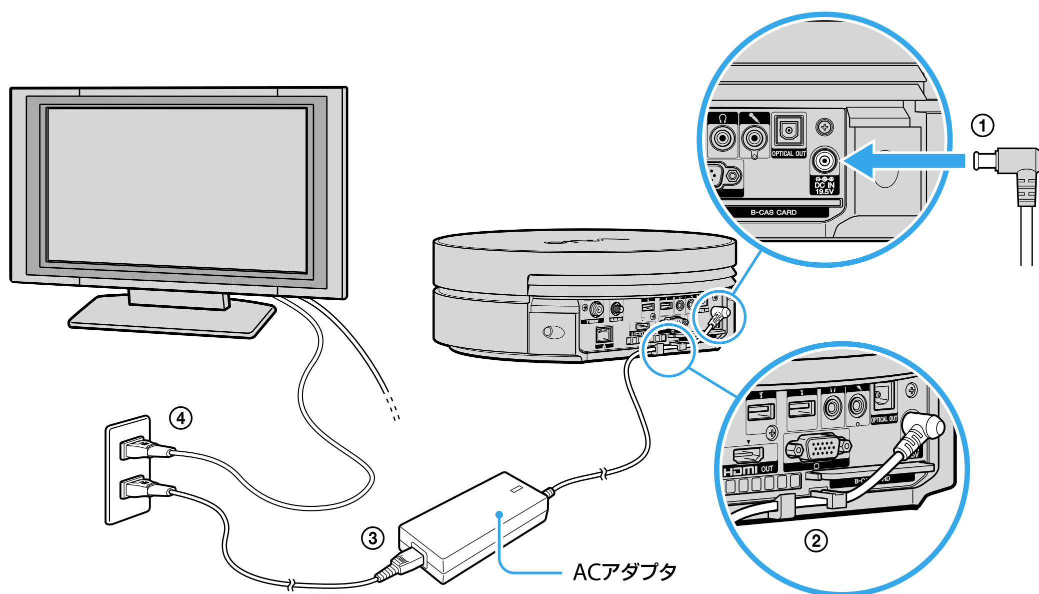
- 本機のリモコン受光部とリモコンの発光部との間に、障害物を置かないでください。
- リモコンの使いかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[リモコン]をクリックする。）

電源コンセントに接続する

本機にACアダプタを接続し、本機とテレビの電源コードを電源コンセントに接続します。

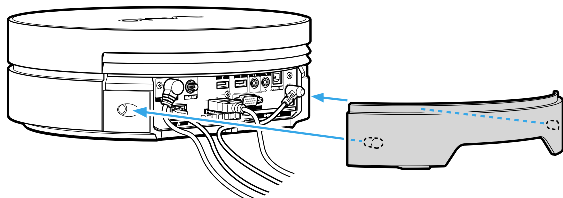
!ご注意
- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は日本国内専用です。交流100Vでお使いください。

① ACアダプタのプラグを本機に接続する。
② ACアダプタのケーブルをフックにかける。
③ ACアダプタに電源コードのプラグを差し込む。
④ 本機とテレビの電源コードをそれぞれ壁の電源コンセントに差し込む。



リアカバーを取り付ける

接続がすべて終わったら、コネクタ類を保護するリアカバーを本体後面に取り付けてください。
リアカバーの両端を本体のへこみに合わせます。ケーブルはリアカバー下部のへこみ部分に通します。



!ご注意
接続するコネクタの種類、大きさによっては、リアカバーを取り付けることができない場合があります。このような場合には、リアカバーを取り付けずにお使いください。

設定1
電源を入れる

テレビと本機の電源を入れます。

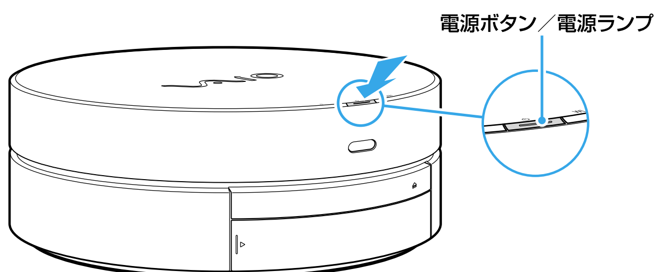
1 テレビの電源ボタンを押す。

ヒント
電源ボタンの位置はお使いのテレビによって異なります。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 テレビの入力を切り換える。

本機をつないだコネクタにテレビの入力を切り換えます。

3 本機の電源ボタンを押す。



本機の電源が入り、電源ランプが点灯して、Windowsが起動します。
4秒以上電源ボタンを押したままにすると、電源が入りません。

ヒント
- 電源を入れたあと、コンピュータを操作せずにいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、本機の電源ランプがオレンジ色で点灯します。省電力機能について詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモードにする]をクリックする。）
- お買い上げ時の設定では、本機の画像がテレビの画面より小さく表示されたり、表示がちらついたりする場合がありますが、故障ではありません。調整は「設定4：画像の大きさや表示を調整する」（27ページ）で行います。

本機の電源をはじめて入れる場合は、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。「Windowsを準備する」（21ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

！ご注意
- Windowsのセットアップ画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 本機を安心してご使用になるには、大切なデータを失わないための対策や、第三者から本機を守るための対策が必要です。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[インターネット]－[インターネットについてのご注意]－[セキュリティについて]をクリックする。）

ヒント
- キーボードがコネクトされている場合は（19ページ）、キーボードの（電源／スタンバイ）ボタンを押しても、電源を入れることができます。
- テレビの電源が入っているとき、本機のWindowsが起動する際に、画面が乱れることがあります。これは、HDCPによるセキュリティ保護のための認証を行っている際に起こることがある現象で、故障ではありません。

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

ヒント
デスクトップ画面のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

1 (スタート)ボタンをクリックする。



スタートメニューが表示されます。

2 ボタン－[シャットダウン]をクリックする。



しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、電源ランプが消灯します。

！ご注意
本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。

ヒント
お買い上げ時の設定では、 ボタンをクリックするとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリとハードディスクに保持したまま（ハイブリッドスリープ、お買い上げ時の設定）、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約することができます。詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。
（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモードにする]をクリックする。）

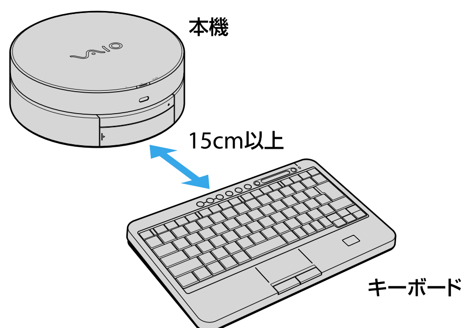
キーボードを準備・コネクトする

ご使用になる環境について

本機とキーボードの距離は、最長10m離して使うことができます。

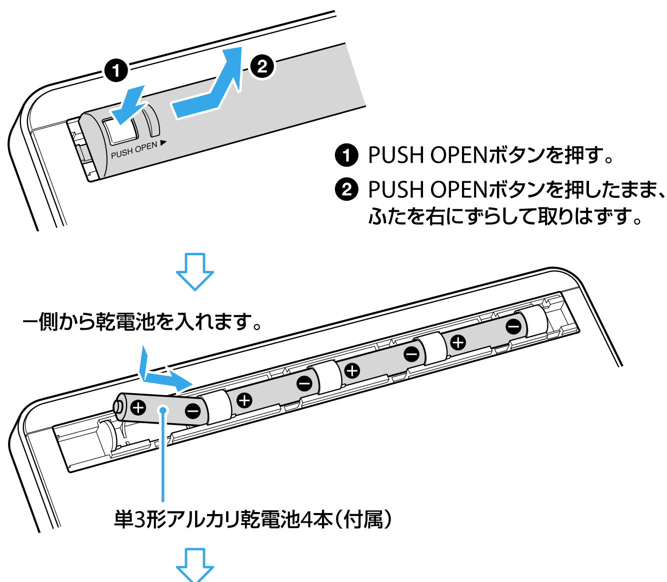
!ご注意

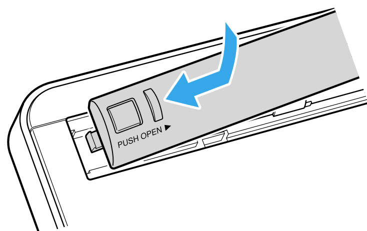
- キーボードの上に水などをこぼさないでください。キーボードが使用できなくなる場合があります。
- 金属製の机など、キーボードの近くに金属があると、近距離(10cm以内)での通信に影響を及ぼし、キー入力やFeliCa通信が不安定になる場合があります。キーボードを金属から離すか、本体との距離を離す(15cm以上)ことをおすすめいたします。



キーボードに乾電池を入れる

キーボードを裏返して、裏面の乾電池入れのふたを開けます。＋と－の方向を確かめてから、付属の単3形アルカリ乾電池を4本入れて、ふたを閉めてください。





！ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- 乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。新しい乾電池と使い古しの乾電池を混ぜたり、異なる種類の乾電池（マンガン乾電池とアルカリ乾電池という組み合わせなど）を混ぜて使用すると「液もれや破損」の原因となります。
- しばらくキーボードを使わないときは電源スイッチを「OFF」にしてください。また、長い間キーボードを使わないときは乾電池を取り出してください。
- 残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。電池容量がなくなったあとも機器に入れたままにしておくと液もれを起こす原因となります。
- 乾電池が液もれしたときは、乾電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。乾電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液をふく際はご注意ください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- キーボードの乾電池には、アルカリ乾電池をご使用ください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。

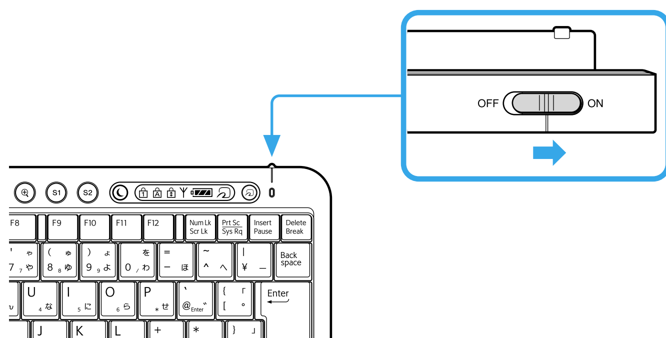
キーボードをコネクトする

キーボードを使い始める前に、キーボードをコネクトする必要があります。

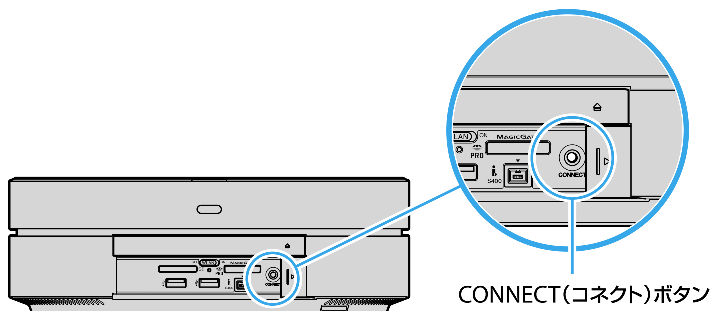
！ご注意

キーボードのコネクトは本体の電源が入った状態で行ってください。

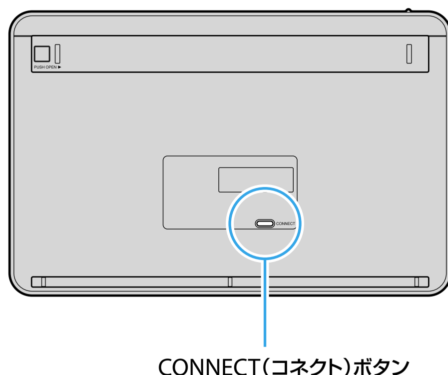
1 キーボード上部の電源スイッチをONにする。



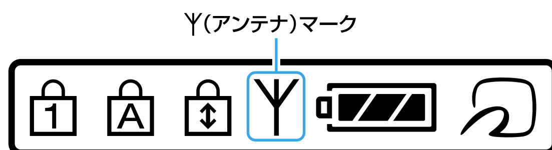
2 本体前面のCONNECT(コネクト)ボタンを1回押す。



3 手順2から10秒以内に、キーボード裏面のCONNECT(コネクト)ボタンを1回押す。



4 キーボード表面右上のインジケーターに(アンテナ)マークが点灯していることを確認する。



点灯していない場合はコネクトが失敗しているので、もう1度手順1 ～ 3の操作を行ってください。

!ご注意

キーボードのCONNECT(コネクト)ボタンを押すときは、その他のキーやボタンに触れないようにご注意ください。

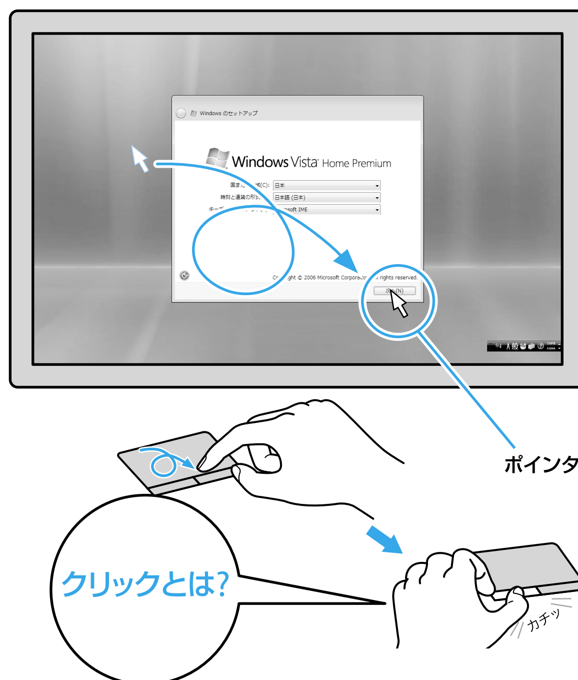
ヒント

- キーボード表面右上にあるバッテリーインジケーターで、キーボードの乾電池の容量が充分かどうか確認できます。
- キーボードを長時間使わないときは、電源スイッチを「OFF」にすると電池寿命が延びます。

Windowsを準備する

電源を初めて入れたら、まずWindowsの準備をしましょう。Windowsの準備が完了すると、付属のソフトウェアやいろいろな機能が使えるようになります。

ヒント
Windowsの準備ではインターネットへの接続は必要ありません。



ヒント
取扱説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

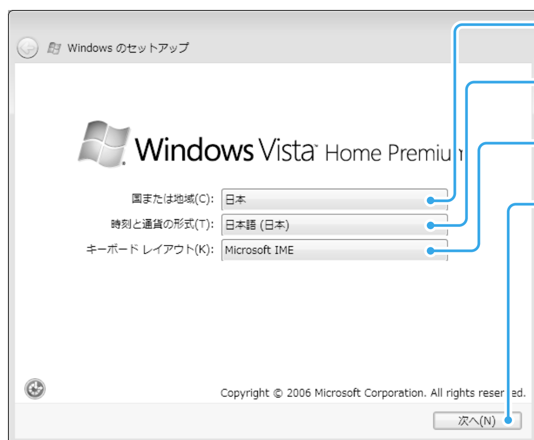
タッチパッドの上で指を動かして、目的の場所の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

1 電源を入れる。

電源ボタンを押し（16ページ）、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。電源を切らずにそのままお待ちください。

！ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでに5 ～ 15分程度かかります。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

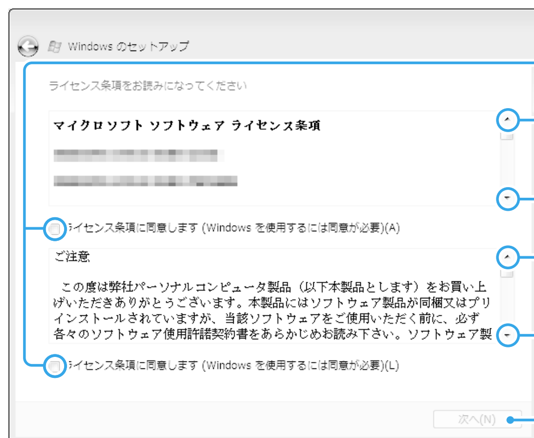
2 設定を開始する。



① [国または地域]で[日本]が選択されていることを確認する。
② [時刻と通貨の形式]で[日本語(日本)]が選択されていることを確認する。
③ [キーボードレイアウト]で[Microsoft IME]が選択されていることを確認する。
④ [次へ]をクリックする。

ヒント
ご使用いただいている機種によっては、OSの名称が異なることがあります。

3 「ライセンス条項」の内容を確認する。



① 2 か所の[ライセンス条項に同意します]をチェックする。

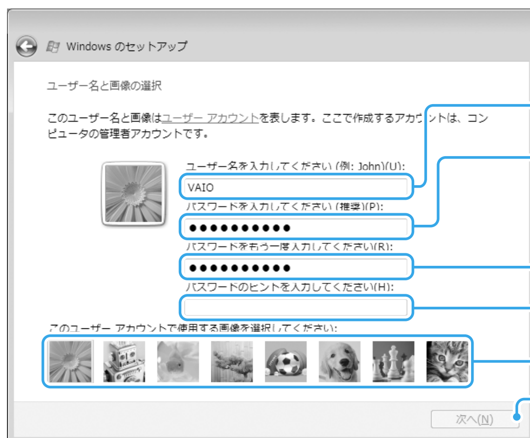
ここをクリックすると文章が上下します。

② 内容を確認したら[次へ]をクリックする。

！ご注意
どちらか一方でもチェックをしないと、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

ヒント
画面左上の ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

4 ユーザーアカウントの設定をする。



① お使いになる方の名前などをユーザー名として入力する。

② パスワードを入力する。
パスワードを入力すると、確認用にもう1度パスワードを入力する欄が表示されます。

③ 上で入力したものと同じパスワードを入力する。

④ パスワードのヒントを入力する。

⑤ このユーザーアカウントで使用する画像をクリックする。

⑥ [次へ]をクリックする。

メモ

！ご注意

- 入力したパスワードは、メモを取るなどして忘れないようにしてください。
- パスワードを入力したときは、パスワードのヒントを入力しないと[次へ]をクリックすることができません。

ヒント

- ユーザー名やパスワードはWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。
  パスワードの作成／変更／削除について、詳しくは取扱説明書の「Windowsパスワードを設定する」をご覧ください。
- ユーザー名には、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベットなどの文字が使用できます（キーボードの半角／全角｜漢字キーで入力を切り換えられます）。
  ユーザー名の例：
  VAIO太郎

5 コンピュータの名前を確認する。



① 自動的に表示されますが、わかりやすい名前に変更することもできます。
② デスクトップの背景にしたい画像をクリックする。クリックすると背景が変更されます。
③ [次へ]をクリックする。

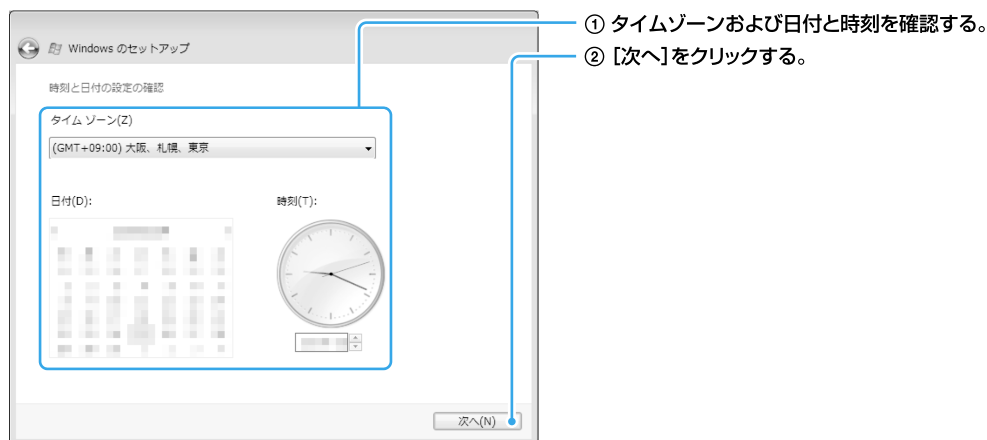
ヒント
コンピュータの名前やデスクトップの背景は、Windowsのセットアップ完了後に変更することができます。

6 コンピュータの保護の設定をする。



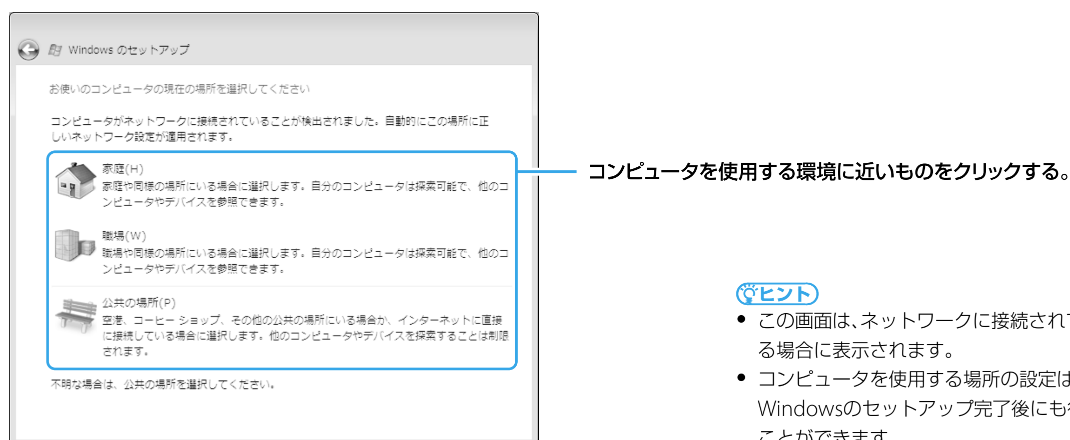
[推奨設定を使用します]をクリックする。

7 日付と時刻の設定を確認する。



① タイムゾーンおよび日付と時刻を確認する。
② [次へ]をクリックする。

8 コンピュータを使用する場所を選択する。



コンピュータを使用する環境に近いものをクリックする。

ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピュータを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

9 設定を完了する。

［いいえ、後で設定します］を選択して、［開始］をクリックする。

セットアップが完了すると、「ウェルカム センター」画面が表示されます。



ヒント

- Windowsのセットアップ完了後に設定することができます。
- ［いいえ、後で設定します］の項目は、「VAIOをご使用になる前に」の内容をスクロールバーで下にスクロールすると現れます。

ヒント

「ウェルカム センター」画面の内容はご使用いただいている機種によって異なることがあります。

これでWindowsが使えるようになりました。
引き続き、設定4 ～設定8を行ってください。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」（17ページ）をご覧ください。

！ご注意

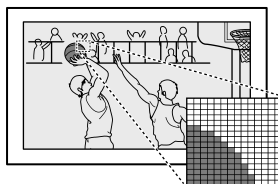
本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理（有償）が必要になることがありますので、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理（有償）を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理（有償）でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。

画像の大きさや表示を調整する

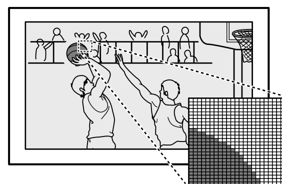
お買い上げ時の設定では、本機の画像がテレビの画面より小さく表示されたり、表示がちらついたりする場合があります。これは、テレビのオーバースキャン効果と、解像度やリフレッシュレートの設定が合っていないためです。解像度の調整で画面の大きさを合わせることができます。

解像度とは？

単位面積当たりの画素数を表し、画像をどのような大きさで画面に表示するかを決定しています。単位はドット・パー・インチ（dpi）で、「780×480」など、画像が1インチ（2.54cm）にもつ縦横のドットの数がいくつあるかを表します。解像度の数値が大きいほど1インチ当たりのドット数が多くなるので、一画面の中の情報量が増え、高精細な画像を見ることができます。



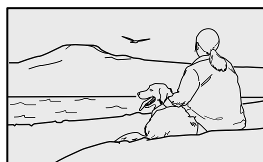
低解像度
ドット数が少なく、
情報量も少ない。



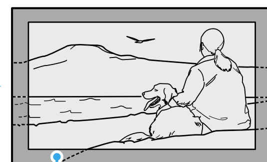
高解像度
ドット数が多く、
情報量が増える。

オーバースキャンとは？

画像の端のゆがみやノイズを隠すために、端が画面からはみ出るように画像を拡大することで、一般的なテレビで見られるビデオ表示効果です。オーバースキャンの設定はテレビによって異なります。







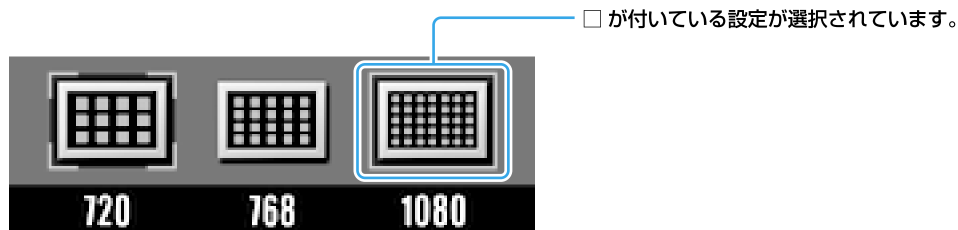
画面に表示されない部分

リフレッシュレートとは？

ディスプレイが1秒間に画面を書き換える回数を指します。単位はHzが使われ、リフレッシュレート60Hzのディスプレイは1秒間に60回画面を書き換えます。
リフレッシュレートが高いほど、画面の解像度や同時発色数を上げることができ、ちらつきを抑えた画面を表示することができます。

解像度設定ユーティリティを使う

解像度設定ユーティリティを使うと、解像度を「720」、「768」、「1080」から選んで切り換えることができます。
キーボードのS2ボタンを押すと、解像度設定ユーティリティの解像度マッピングを選ぶ画面が表示されます。設定したい解像度マッピングをクリックすると数秒後に解像度が切り換わります。



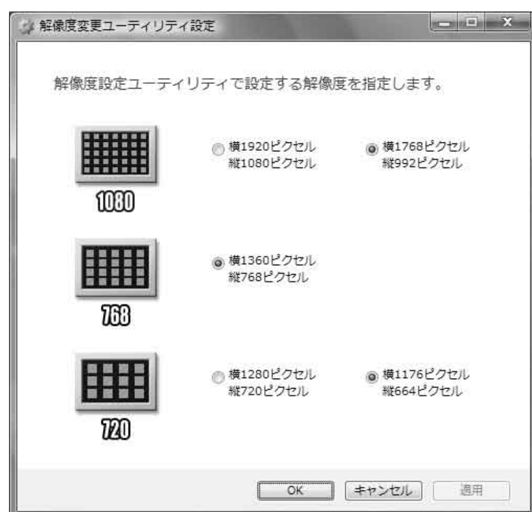
解像度マッピングに指定された解像度を変更するには

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO の設定]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 [ディスプレイ]ー[解像度設定ユーティリティの調整]をクリックする。

設定画面が表示されます。



3 設定したい解像度を選び、[OK]をクリックする。

画像がテレビの画面からはみ出てしまった場合

「コントロールパネルで解像度を設定する」(下記)の手順を行ってください。

コントロールパネルで解像度を設定する

解像度設定ユーティリティを使っても画像がお好みの大きさにならなかったときは、コントロールパネルから解像度を変更してください。

1 (スタート)ボタンー[コントロールパネル]をクリックする。

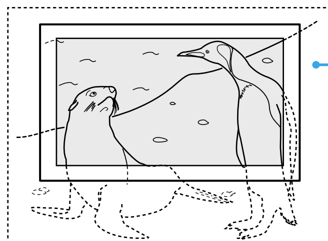
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「デスクトップのカスタマイズ」の[画面の解像度の調整]をクリックする。

「画面の設定」画面が表示されます。

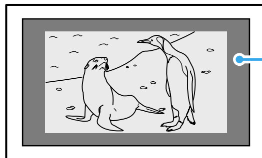
3 「解像度」のスライダで解像度を選ぶ。

画像がテレビ画面からはみ出している場合は、スライダを左側に動かして、解像度を小さくします。



画像全体がテレビ画面に映っていない。

画像がテレビ画面より小さい場合は、スライダを右側に動かして、解像度を大きくします。



テレビ画面に何も映っていない部分がある。

4 [OK]をクリックする。

「画面の設定」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
変更した設定が有効になります。

フルHDパネル搭載のBRAVIAと接続する場合

本機の解像度を「1920×1080」に設定してください。さらに、BRAVIAの設定で、「画面モード」の「表示領域」を「フルピクセル」に設定してください。
HDMI入力の画面モードがオーバースキャンのない「フル」になり、画面欠けのない鮮明な画像を楽しめます。

フルHDパネルが搭載されていないBRAVIAと接続する場合

解像度をワイドXGA（「1360×768」）に設定してください。
画面欠けのほとんどない最適化された画像を楽しめます。

！ご注意

2007年春以前に発売されたフルHDパネル非搭載BRAVIA/WEGAには、HDMI入力からのワイドXGA解像度（1360×768）に対応していない機種があります。対応していない機種を接続した場合、解像度を「1360×768」に設定できません。

オーバースキャンを調整する

画像がテレビ画面より大きく表示されない部分がある場合や、画像がテレビ画面より小さくテレビ画面に黒く何も映っていない部分がある場合、オーバースキャンの値を調整することにより、画像の大きさをあわせることができます。

1 （スタート）ボタン－［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［その他オプション］をクリックする。

3 ［NVIDIA コントロールパネル］をクリックする。

「NVIDIA コントロールパネル」画面が表示されます。

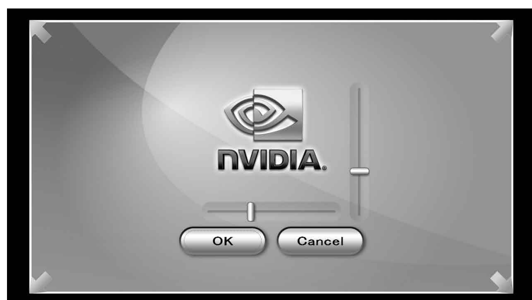
4 ［ビデオと TV］－［HDTVデスクトップのサイズを変更します。］をクリックする。

「HDTVデスクトップのサイズ変更」画面が表示されます。

5 「2.HDTVデスクトップのサイズの変更」の［デスクトップのサイズ変更］をクリックする。

6 スライダバーを調整する。

上下左右の矢印の位置を変更すると実際の画面の大きさが変わります。お好みに合わせて位置を設定してください。



7 [OK]をクリックする。

BRAVIAの設定を使う

ソニー製テレビBRAVIAに接続している場合で、コントロールパネルで解像度の設定をしても画像がテレビ画面より小さく、テレビ画面に何も映っていない部分があるときは、BRAVIAの設定で調整することができます。
BRAVIAの取扱説明書をご覧になり、「画面モード」の「表示領域」を設定してください。「－1」または「－2」を選んで、画像の欠けをなくします。

表示のちらつきを抑える

プログレッシブ表示に対応したテレビに接続している場合は、リフレッシュレートの設定を変更して表示のちらつきを抑えることができます。

1 (スタート)ボタン－[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「デスクトップのカスタマイズ」の[画面の解像度の調整]をクリックする。

「画面の設定」画面が表示されます。

3 [詳細設定]ボタンをクリックする。

プロパティ画面が表示されます。

4 [モニタ]タブをクリックする。

5 「画面のリフレッシュレート」で「60ヘルツ、プログレッシブ」を選ぶ。

「60ヘルツ、プログレッシブ」が表示されない場合は、テレビがプログレッシブに対応していないため、設定できません。

6 [OK]をクリックする。

変更した設定が有効になります。

インターネット／ネットワークの設定をする

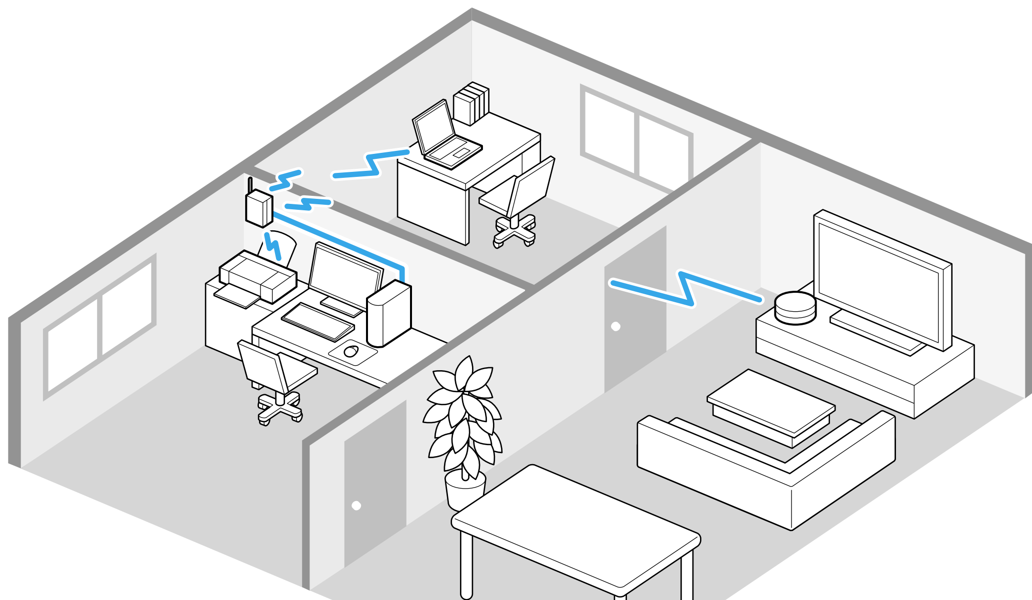
インターネットやホームネットワークを利用するために、ここではワイヤレスLANの設定を行います。本機には2.4GHzワイヤレスLAN（IEEE802.11b/g準拠）機能が搭載されています。
ご使用の環境がワイヤレスLANではない場合の接続方法は、「インターネット接続用機器に接続する」（47ページ）をご覧ください。

インターネットとは？

世界各地にあるサーバーを相互に接続した、地球規模のコンピュータネットワーク網のことです。利用者は、近くのサーバー（プロバイダ業者など）に接続すれば、世界中のサーバーに接続できるようになります。
インターネットに接続すると、ホームページ閲覧や公開、電子メール、インターネット電話、音楽や動画の視聴といったさまざまなサービスを楽しむことができます。
インターネットには、ADSLや光（FTTH）、ケーブルテレビ回線を使った接続方法があります。
インターネットの接続サービスの種類については、「VAIO 電子マニュアル」の［インターネット］もご覧ください。

ホームネットワークとは？

家庭内にある複数のコンピュータ間に構築するネットワークのことです。ユーザーの好みや家の環境に合わせ、ルーターやアクセスポイントを使ってワイヤレス（無線）LANのネットワークを作ったり、コンピュータだけでなく、テレビやオーディオ機器をつなぐ設定も可能です。ネットワークでつながった機器同士で、インターネット接続回線やプリンタ、ファイルなどを共有することができます。



インターネットやネットワークについてわからない用語があったときは、「インターネット・ネットワークの用語集」（48ページ）をご覧ください。

本機をワイヤレスLANに接続する前に

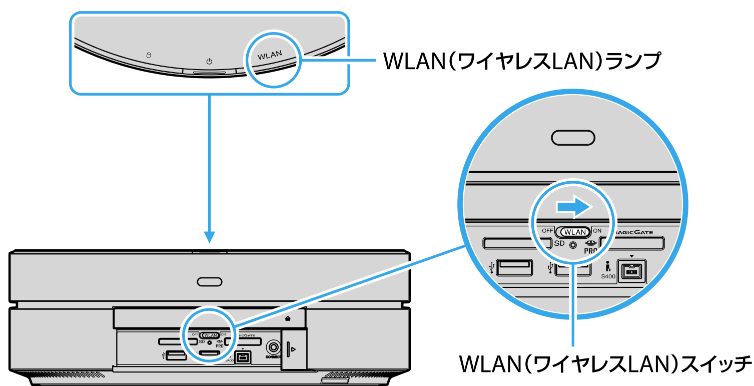
- **プロバイダと契約する**
  インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。プロバイダについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[本機に付属されているソフトウェア]をクリックして表示される「ISPサインアップ」の項目をご覧ください。
- **アクセスポイントやモデムなどの機器を接続・設定する**
  プロバイダからインターネット接続に使用するマニュアルや資料、機器などが郵送されてきますので、マニュアルをお読みになり、機器の接続と設定を行ってください。

ワイヤレスLANアクセスポイントを使って通信する

アクセスポイントを経由してインターネットや職場のLANなどとつなぐには、アクセスポイントの設定が必要です。詳しくは、お使いになるアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。
以下の手順は、アクセスポイントを使えるように設定し、アクセスポイントの電源が入っていて動作している状態で行ってください。
設定について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の[パソコン本体の使いかた]－[LAN ／ワイヤレスLAN]と、Windowsのヘルプをご覧ください。

1 WLAN（ワイヤレスLAN）スイッチを「ON」に合わせる。

ワイヤレスLAN機能がオンになり、WLAN（ワイヤレスLAN）ランプが緑色に点灯します。



2 （スタート）ボタン－[接続先]をクリックする。

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

3 画面のリストから接続先のワイヤレスLANアクセスポイントを選び、[接続]をクリックする。

接続されると、選択したワイヤレスLANアクセスポイントの欄に「接続済み」と表示されます。
リストに接続先のワイヤレスLANアクセスポイントが見つからない場合は、(更新)をクリックしてください。
セキュリティ キーを入力する画面が表示されたときは、必要に応じて「セキュリティ キー」を入力し、[接続]をクリックしてください。
入力時はアルファベットの大文字と小文字が区別されますのでご注意ください。

4 [このネットワークを保存します]、[この接続を自動的に開始します]にチェックを入れて、[閉じる]をクリックする。

上記項目にチェックをつけない場合、再起動やスリープから復帰した際に、再度手動で接続を行う必要があります。

5 (スタート)ボタンー[インターネット]をクリックする。

Internet Explorerが起動して、VAIOホームページが表示されたら、インターネットに接続されています。表示されない場合は、「インターネットに接続できないときは」(36ページ)をご覧ください。

接続先を新規に作るには

新規のワイヤレスネットワークに接続する場合は、接続先を作成します。

1 (スタート)ボタンー[接続先]をクリックする。

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

2 [接続またはネットワークをセットアップします]をクリックする。

3 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します]を選んで、[次へ]をクリックする。

4 お使いになるアクセスポイントにあわせて各項目を設定し、[次へ]をクリックする。

接続先が追加されます。
[接続します]をクリックすると、追加した接続先に接続します。

- 「セキュリティの種類」に「認証なし（オープン システム）」以外を選択した場合は、「セキュリティ キーまたはパスフレーズ」の入力が必要です。
- アクセスポイントを認識したときに自動で接続したいときは、[この接続を自動的に開始します]をクリックしてチェックします。
- アクセスポイントのネットワーク名（SSID）について、ステルスモードまたはクローズドシステムをお使いの場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]をクリックしてチェックします。

ワイヤレスLANの通信を終了するには

WLAN（ワイヤレスLAN）スイッチを「OFF」に合わせます。ワイヤレスLAN機能がオフになり、WLAN（ワイヤレスLAN）ランプが消灯します。

インターネットに接続できないときは

次の項目を確認してください。

❑ プロバイダとの契約を確認する

インターネット接続するには、プロバイダと契約する必要があります（34ページ）。

❑ 機器の接続や設定を確認する

契約したプロバイダにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。本機とLANケーブルの接続は、47ページをご覧ください。

❑ 「VAIO 電子マニュアル」で解決方法を探す

「VAIO 電子マニュアル」には、インターネットやワイヤレスLANに関する情報が記載されています。
（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリックして起動し、以下のページをご覧ください。

- **インターネットの使いかたについては**
  [インターネット]をクリックする。
- **ワイヤレス機能を有効にしたいときは**
  [パソコン本体の使いかた]－[LAN ／ワイヤレスLAN]－[ワイヤレスLANで通信する]をクリックする。
- **アクセスポイントが使用できないときは**
  [Q&A集]－[パソコン本体]－[LAN ／ワイヤレスLAN]をクリックする。「ワイヤレスLANが使えない」や「本機とワイヤレスLANアクセスポイントの通信ができない（インターネットにアクセスできない）」の項目をご覧ください。
- **ネットワークキー、暗号化について知りたいときは**
  [パソコン本体の使いかた]－[LAN ／ワイヤレスLAN]－[ワイヤレスLANで通信する]をクリックする。
- **通信速度が遅いときは**
  [Q&A集]－[パソコン本体]－[LAN ／ワイヤレスLAN]をクリックする。「ワイヤレスLAN経由で受信した映像や音声が、再生できなかったり途切れたりする　また、通信速度が遅い」の項目をご覧ください。
- **モデムがダイヤルしないなど、困ったときは**
  [Q&A集]－[インターネット]－[インターネット接続]の各項目や[ホームページ／電子メール]をクリックして表示された情報をご覧ください。

基本設定をする

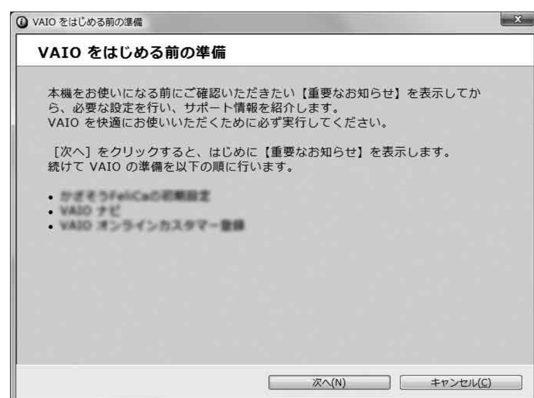
バイオを快適にお使いいただくための基本設定を行います。

VAIOをはじめる前の準備を行う

「VAIO をはじめる前の準備」では、バイオを快適にお使いいただくために必要な設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 デスクトップ画面上の[VAIO をはじめる前の準備]をダブルクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO をはじめる前の準備」画面が表示されます。





「VAIO をはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

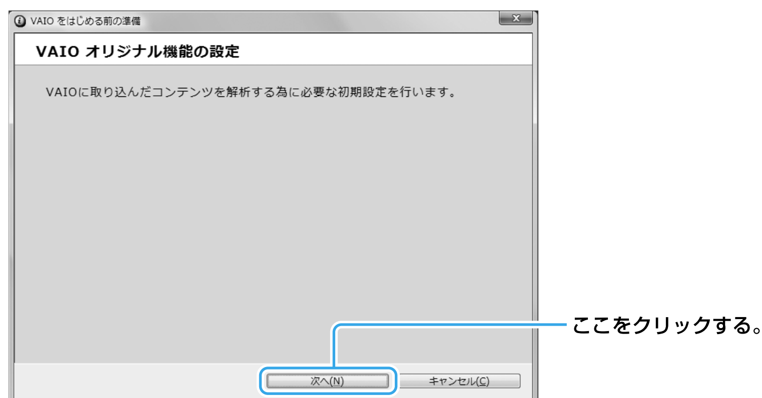
2 画面の指示に従って操作する。

「VAIO オリジナル機能の設定」が表示される場合は、次の「VAIO オリジナル機能の設定を行う」の項目をご覧ください。
最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

VAIO オリジナル機能の設定を行う

バイオ内のコンテンツ(取り込んだ音楽、写真やビデオなど)を解析するためにVAIO オリジナル機能の設定を行ってください。
VAIO オリジナル機能の設定は「VAIO をはじめる前の準備」から設定します。
「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示されたら、以下の手順に従って設定を行ってください。

1 [次へ]をクリックする。

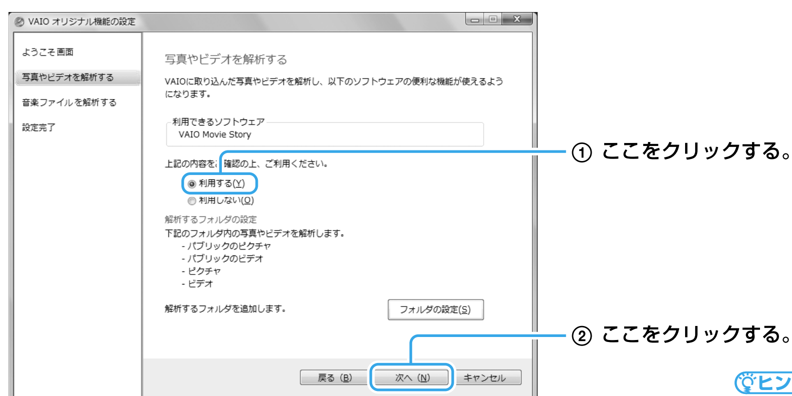


「VAIO オリジナル機能の設定へようこそ」画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
設定画面が表示されます。

3 表示される各画面で内容を確認し、[利用する]を選択して[次へ]をクリックする。



ヒント
設定する項目は、お使いのモデルによって異なります。

4 [終了]をクリックする。

VAIO オリジナル機能の設定が完了します。

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「バイオ」をご所有のお客様に「VAIOカスタマー登録」をお願いしています。
ご登録いただくと、より充実したサービスサポートを受けることができます。
「My Sony ID」が発行（「My Sony ID」を既にお持ちの場合は製品の登録情報を追加）され、「My Sony ID」を使用したご登録者限定メニューがご利用いただけます。

ヒント
- VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」までご連絡ください。
- My Sony IDはソニー共通体系のお客様IDです。ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードで利用できます。
  また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク（ひも付け）」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
  My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）をご覧ください。

！ご注意
- VAIOカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをした後などに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。

VAIOカスタマー登録の特典

① セキュリティーや品質などに関する重要な情報を提供
② VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートメニューを提供
③ 特典情報やキャンペーンなど、バイオに関するさまざまな情報を提供

❑ ご利用いただけるサポート

- **フリーダイヤルによる電話でのお問い合わせ**
  使いかたに関するお問い合わせ窓口（VAIOカスタマーリンク使い方相談窓口）がフリーダイヤルでご利用いただけます。
- **VAIOコールバック予約サービス**
  ホームページから電話サポートを予約いただくと、ご指定の日時にオペレーターからお電話を差し上げます。
  24時間ご利用可能です。
- **VAIOリモートサービス**
  オペレーターが、インターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながらご案内します。
- **テクニカルWebサポート**
  バイオに関する使いかたなどの質問をホームページで受付し、電子メールで返信します。
- **VAIO Hot Street（情報交換サイト）**
  お客様同士でバイオに関するさまざまな情報を投稿、質問、回答できます。

❑ ご利用いただける有料サービス

- VAIO延長保証サービス
- VAIO Overseas Service（海外現地修理サービス）
- VAIOソフトウェアセレクション（ソフトウェア・ダウンロード販売サイト）

※2008年2月現在
ご利用いただけるサポートや有料サービスについて詳しくは、取扱説明書の「困ったときは／サービス・サポート」をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

！ご注意

- VAIO オンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO オンラインカスタマー登録］をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。



！ご注意

機種によって「VAIO オンラインカスタマー登録」が搭載されていない場合があります。この場合は「MyVAIO」（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO）の「MyVAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックして手順3に進んでください。

2 内容をよく読み、［ご登録ページへ］をクリックする。

登録画面が表示されます。

ヒント

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

！ご注意

- 表示された番号は、メモをとるなどして忘れないようにしてください。
- VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートをご利用になるには、「My Sony ID」が必要になります。

ヒント

「My Sony ID」は登録メールアドレスに送信されます。

最新情報を自動的に入手する

「VAIO Update」とは

「VAIO Update」とは、ソニーが提供するお客様への「重要なお知らせ」やご使用のバイオを最新の状態にする「アップデートプログラム」などの情報を自動的にお知らせするソフトウェアです。
情報が更新されると、タスクバーの通知領域からバルーンでお知らせします。

ヒント
- VAIO Updateは、無料でご利用いただけます。(インターネットの通信費はお客様負担となります。)
- VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

VAIO Updateでの個人情報の取り扱いについて

ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。
- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号やOSおよびインストールソフトウェアなどの情報、ならびにお客様の個人情報をサーバーに送信しませんので安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためで、ここから個人情報への結びつけは行いません。

「VAIO Update」を設定する

VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Update 3]－[VAIO Updateの設定]をクリックする。

「VAIO Updateの設定」画面が表示されます。

ヒント
「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示された際にバルーンをクリックしても表示されます。

2 「VAIO Updateへようこそ」の内容をスクロールして最後まで読む。



ヒント
スクロールして最後まで読むと左記の画面に変わります。

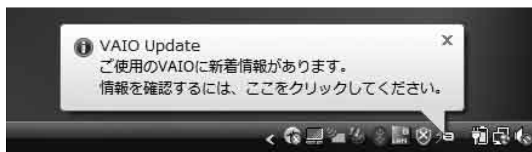
3 「定期的にサーバーと通信を行い、新着情報を確認する」および「タスクバーにアイコンを表示する」のチェックボックスにチェックがあることを確認し、[OK]をクリックする。

設置・接続
設定
その他の準備

「VAIO Update」を利用する

1 VAIO Updateのバルーン画面をクリックする。

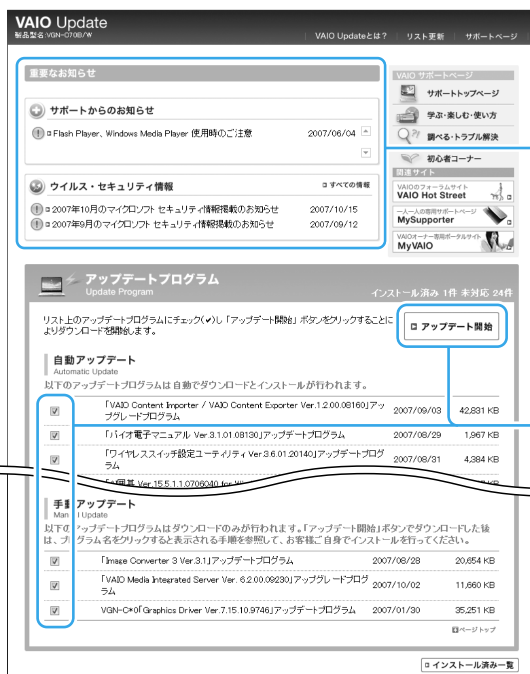
情報が更新されると、タスクバーの通知領域からバルーンでお知らせします。





実際の画面とは異なる場合があります。

2 「重要なお知らせ」の確認とアップデートを行う。



重要なお知らせを確認する
セキュリティ関連情報など、ソニーがお客様に提供する「重要なお知らせ」を確認できます。
件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

アップデートを行う
[アップデート開始]ボタンをクリックする
チェックボックスにチェックがついているプログラムのアップデートが開始されます。

アップデートプログラムには、自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。
自動アップデート：ダウンロードとインストールを自動で行います。
手動アップデート：ダウンロードまで自動で行います。ダウンロード後はプログラムの件名をクリックし表示される内容に従ってインストールしてください。



- アップデートを行うには、管理者権限を持つユーザとしてログオンする必要があります。
- あとでアップデートしたいプログラムはチェックボックスのチェックをはずしてください。
- セキュリティ対策など重要度の高いアップデートプログラムの場合、プログラム名の横に(!)のアイコンが表示されます。これらのプログラムについては、アップデートすることを強くおすすめします。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続き「取扱説明書」や「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

❑ リカバリディスクを作成してください。

- 取扱説明書の「増設／バックアップ／リカバリ」－「バックアップについて」－「リカバリディスクを作成する」をご覧ください。

❑ 電子メールをやりとりしたい。

- 「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（54ページ）
  （[インターネット]－[ホームページ／電子メール]－[電子メールをやりとりする]をクリックする。）

❑ Windowsの基本操作を知りたい。

- 「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（54ページ）
  （[できるWindows for VAIO]をクリックする。）
- VAIOカスタマーリンクのホームページ（取扱説明書の「困ったときは／サービス・サポート」－「サポートホームページで調べる」）をご覧ください。

Windows Updateについて

より安定した状態でバイオをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックする。

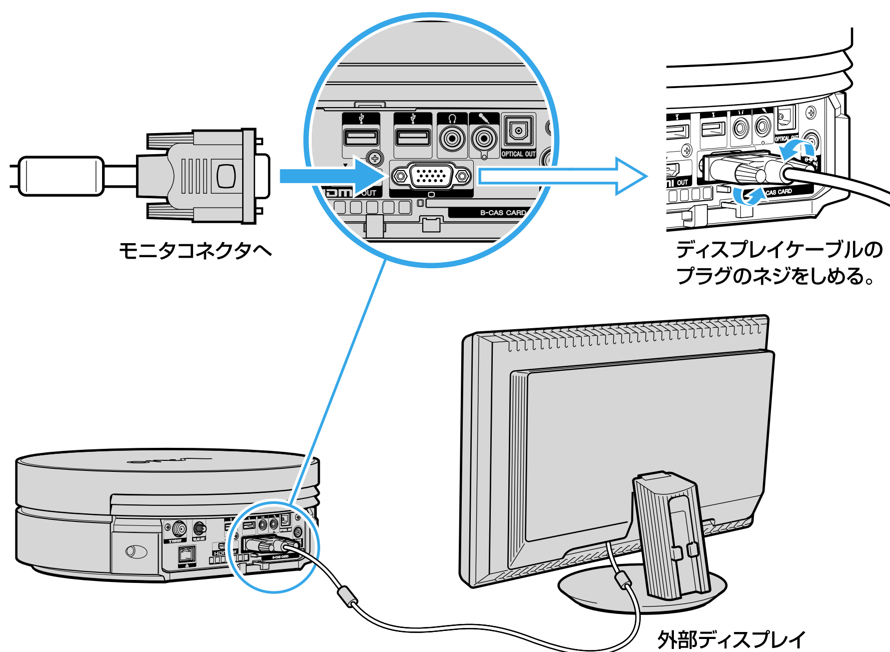
外部ディスプレイに接続する

本機を外部ディスプレイに接続します。
アナログのモニタコネクタで接続する方法と、HDMI－DVI-D変換アダプター(付属)を使ってDVI-D端子のあるディスプレイと接続する方法があります。
本機のHDMI OUT(エイチディーエムアイ出力)コネクタと、テレビのHDMI端子を、HDMIケーブル(付属)で接続する方法については、「接続1：テレビに接続する」(8ページ)をご覧ください。

ヒント
外部ディスプレイには音声信号が出力されません。音声を出力するには、オーディオ接続ケーブル(別売り)を🎧(ヘッドホン出力)コネクタにつないでください。

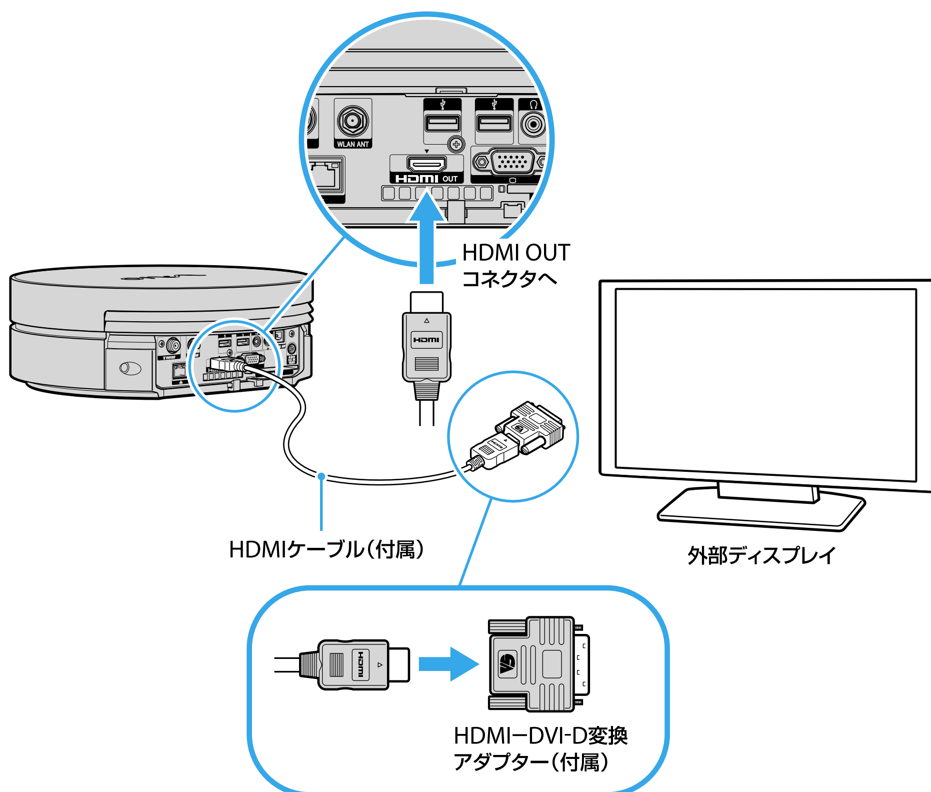
モニタコネクタに接続するには

本機のモニタコネクタと外部ディスプレイのHD15入力端子(アナログRGB)を接続します。



DVI-D端子のあるディスプレイと接続するには

HDMI－DVI-D変換アダプター（付属）を使って、本機のHDMI OUT（エイチディーエムアイ出力）コネクタと外部ディスプレイのDVI-D端子を接続します。



！ご注意

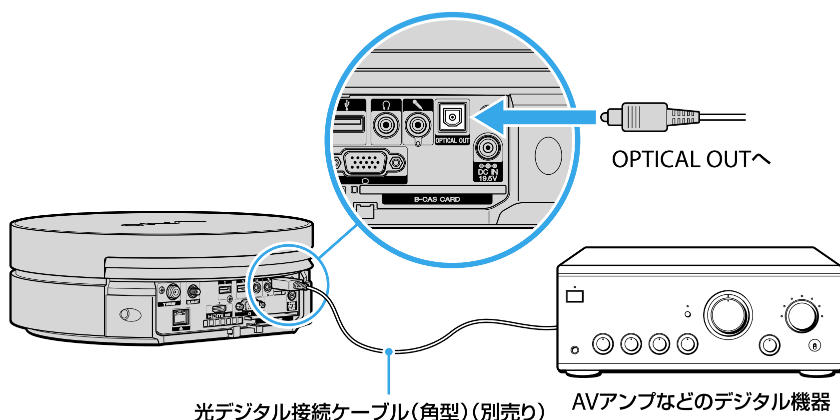
HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格対応が再生または出力の要件になっているコンテンツを利用される場合は、HDCP規格対応のDVI-D入力を持つディスプレイが必要です。

AVアンプなどのデジタル機器を接続する

本機のOPTICAL OUT(光デジタル出力)コネクタを使って、AVアンプや5.1chサラウンドスピーカーシステムをつないでリニアPCMやDolby Digitalなどのデジタル音声を再生することができます。
接続した機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

!ご注意

- デジタル機器と接続するには、別売りの光デジタル接続ケーブル(角型)が必要です。
- OPTICAL OUT(光デジタル出力)コネクタに機器をつないだときに音声が出ない場合には、音声の出力先を確認してください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([バイオ本体の使いかた]−[音声]−[音声の出力先を変更する]をクリックする。)



ヒント

別売りのソニー製の光デジタル接続ケーブル(角型)には、POC-5ABなどがあります。

!ご注意

- AVアンプやデジタル機器の種類によっては、対応していない場合があります。
- OPTICAL OUT(光デジタル出力)コネクタから出力されるDVD再生時のPCM音声は、使用するソフトウェアやOSの設定よってサンプリング周波数やビット数が異なります。
- 96kHzに対応していないアンプなどをつないでいるときに[96000Hz]を選ぶと、音が出なかったり、突然大音量が出たりすることがあります。
- 本機の出力するデジタル音声には、一部の例外を除き、SCMSに準拠するコピーコントロール信号を付加しています。

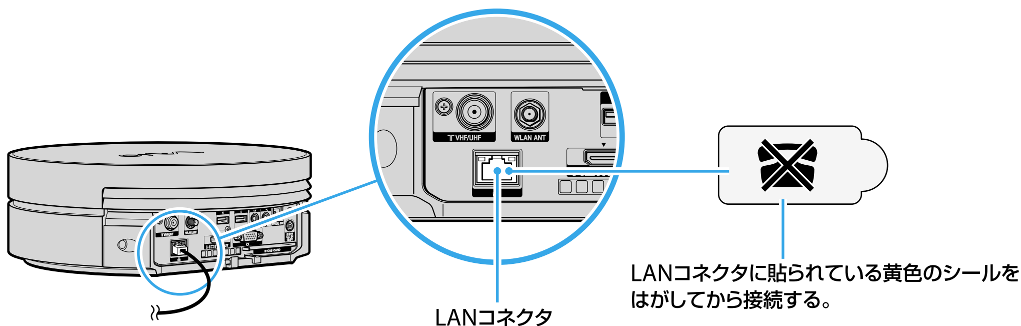
インターネット接続用機器に接続する

インターネットに接続するには、ADSL、FTTH（光）、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスを利用する方法や、ISDN回線を利用する方法があります。

!ご注意
インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは

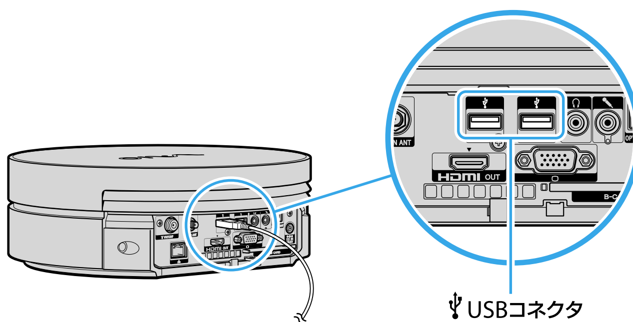
ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときはLANコネクタを使用します。



!ご注意
LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときはUSBコネクタを使用します。



ヒント
本機前面のUSBコネクタにつなぐこともできます。

設置・接続
設定
その他の準備

インターネット・ネットワークの用語集

アクセスポイント
ワイヤレス（無線）LANから有線LANへ、またはワイヤレスLAN機能を持った機器同士の通信を中継する装置のことです。
ブリッジタイプとルータータイプの2種類があり、ブリッジタイプはデータ転送の中継のみを行い、ルータータイプはデータ転送の中継に加えてルーター機能を持っています。

クロスケーブル／ストレートケーブル
イーサネットなどで使われる接続ケーブルの種類です。ストレートケーブルはコンピュータとモデムやハブとの接続、クロスケーブルはコンピュータ同士の接続や、ハブ同士のカスケード接続に使われます。

サブネットマスク
インターネットのように巨大なTCP/IPネットワークは、複数の小規模なネットワーク（サブネット）に分割されて管理されています。
サブネットマスクは、ネットワークを区切るために、ネットワークに接続する機器に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するしくみです。

スイッチングハブ
端末から送られてきたデータを解析して、データの宛て先を検出し、検出した宛て先にのみデータを送信する役割をもつハブ（集線装置）です。
データ同士の衝突を防ぐため、大規模なLANを構築する場合でも、伝送速度が安定します。また、検出した宛て先のみにしかデータを送信しないので、セキュリティも向上します。

デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイアドレス）
異なるネットワークに存在するコンピュータと通信する場合に使用する「出入り口」の代表となるコンピュータやルーターなどを指すもので、IPアドレスで特定されています。ゲートウェイは、双方のネットワーク間のプロトコルの違いなどを調整して、異なるネットワーク間での接続を可能にします。
デフォルトゲートウェイは、目的のコンピュータにデータが正しく届くように制御します。

電子メール（E-mail）
電子メール（Electronic mail）は、ネットワークを使用した、コンピュータ同士の手紙です。文字だけではなく、画像データ、音声、ゲームのプログラムなども送ることができます。サーバー上にそれぞれのポスト（電子メールアドレス）を設置しておき、そのポスト間で世界中の人と電子メールのやり取りを行います。

ブロードバンド
高速な通信回線の普及によって実現されるコンピュータネットワークと、その上で提供される大容量のデータを活用した新たなサービスのことです。一般的にxDSL（ADSL、VDSL、HDSL、SDSLなど）、CATV、光ファイバーなどが「ブロードバンド（broad＝広い、band＝帯域）」と呼ばれています。

ポート番号
ネットワークを介して、ネットワークに対応した複数のソフトウェアを使用するための数値です。

ルーター
異なるネットワーク同士を中継し、相互接続を行うためのネットワーク機器です。ネットワーク層のアドレスを見て、どの経路を通して転送すべきかを判断し、自分の対応しているプロトコル以外のデータはすべて破棄する機能を持っています。

ADSL
Asymmetric Digital Subscriber Lineの略で、「非対称デジタル加入線」と訳されます。これは上り（発信）と下り（受信）の速度が「非対称（Asymmetric）＝同じではない」ということで、ADSLでは「上り」より「下り」の速度を速くしています。
一般ユーザーは、Webページ閲覧やファイルのダウンロードなど「下り」の利用頻度が圧倒的に高いため、ADSLは一般のインターネットユーザーに向いていると言われています。

ADSLモデム／ VDSLモデム
コンピュータをADSL回線またはVDSL回線に接続する際に必要な信号変換機のことです。

CATVインターネット
インターネットの接続を、一般回線やISDN回線を使用しないで、ケーブルテレビ用に敷設されている光ファイバー、同軸ケーブル網を使用して提供するサービスのことです。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略で、TCP/IPプロトコル群の1つです。インターネットに接続するコンピュータに、動的にIPアドレスを割り当て、通信が終了するときにIPアドレスを回収して他の端末に割り当てるためのプロトコルです。
DHCPサーバーには、DNSサーバーやゲートウェイのアドレスやサブネットマスクなどの情報と、クライアントに割り当てるいくつかのIPアドレスをあらかじめ登録しておきます。クライアントは、DHCPサーバーにアクセスし、IPアドレスと各種設定情報を取得することによって、TCP/IPのセットアップを自動的に行い、簡単にインターネットに接続することができます。

DLNA

Digital Living Network Allianceの略で、コンピュータ業界と家電業界の企業により、ホームネットワーク環境でデジタルAV機器同士や、コンピュータを相互に接続することを目的として結成した団体のことです。
映像や音楽などのデジタルコンテンツは、メーカーにより規格などが異なります。そのため、静止画や音楽、動画のファイルフォーマットなどを規定し、これらのコンテンツを家庭内のどこからでもアクセスできるようにするための環境作りを進めています。

DNSサーバー（プライマリ・セカンダリ）

DNSとはDomain Name Systemの略で、インターネット上のコンピュータのドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーです。DNSサーバーは2系統以上用意され、そのうち主系統（メイン）のサーバーをプライマリ、副系統のサーバーをセカンダリと呼びます。

DTCP-IP

Digital Transmission Content Protection over Internet Protocolの略で、ネットワーク上にデジタル放送などの著作権保護付きデータを配信させる技術の総称です。
DTCP-IPの技術により、著作権保護付きデータは、ホームネットワーク上で自由に扱うことができます。また、ホームネットワーク以外へのデータ伝送を禁止することで、著作権保護付きデータ自体を保護する役割を持ちます。

FTTH

Fiber To The Homeの略で、高速通信が可能な光ファイバーケーブルを各家庭に引き込み、高速なインターネット環境を構築する計画またはその通信サービスのことです。
光ファイバーケーブルを通信サービスの加入者宅まで敷設することで、数十Mbpsという高速なデータ通信を可能にします。

HTTP

HyperText Transfer Protocolの略で、WWWサーバーとWWWクライアントの間で、情報を交換する際に使用されるプロトコルです。HTMLに含まれるテキストや画像などの情報を、まったく変換せずにそのままデータ転送します。

IPアドレス

ネットワークに接続する機器に割り当てられる固有の番号（住所）です。通常は「192.168.10.1」などのように、0から255までの数字を4個並べて、点で区切った形で表現されます。

LAN

Local Area Networkの略で、同一フロアや同一の建物など物理的に近い位置にあるコンピュータなどを結ぶネットワークのことです。

MACアドレス

Media Access Control Addressの略で、ネットワーク上で、ネットワークインターフェースを識別するために設定されている固有の番号のことです。6バイトの数字で構成される独自のアドレスです。

ONU（光終端装置）

コンピュータを光ファイバー通信網において、ネットワークに接続する際に必要な装置のことです。

PPPoE

Point to Point Protocol over Ethernetの略です。イーサネットなどのネットワーク上でダイヤルアップ接続（PPP接続）のような利用者のユーザー名、パスワードのチェックを行うために作り出された規格であり、ADSLなどの常時接続型のサービスが採用している技術です。

SMTP ／ POP

SMTPは電子メールを送信するためのプロトコルです。メールサーバーにメールを送信するときや、サーバー間でメールを配送するときに使われます。
POPはPost Office Protocolの略で、メールの受信に使われるプロトコルの1つです。

TCP/IP

インターネットなどのネットワークで使用されている標準的なプロトコル（通信手段）です。TCP（伝送制御プロトコル）はTransmission Control Protocolの略で、送受信、フロー制御などの手順を担当します。IP（経路制御プロトコル）はInternet Protocolの略で、データグラム転送を担当します。以上の2つのプロトコルを合せてTCP/IPと呼びます。

WEP

Wired Equivalent Privacyの略で、ワイヤレスLANで採用されているデータの暗号化方式です。
RC4という暗号化アルゴリズムを使用しており、ワイヤレスLANで通信を行う機器の双方に同じ64bit、または128bitの暗号キーを登録する共通鍵暗号方式（秘密鍵暗号方式、対称鍵暗号方式ともいいます）で、外部からデータを解読されないようにする技術です。
WEPはワイヤレスLANで標準化されている暗号化方式として採用されていますが、セキュリティの脆弱性が危惧されており、WEPに替わる新しい規格としてWPAが開発されています。

Wi-Fi

「Wireless（ワイヤレス）」と「Fidelity（忠実度）」を組み合わせた言葉で、業界団体のWi-Fi Allianceが無線規格「IEEE 802.11 High-Rate Direct Sequence（DS）」を、消費者に広く認知させるために名付けました。
現在、Cisco社、3Com社、Lucent Technologies社、Nokia社、NEC社、富士通社、ソニーなど、200社以上の業界各社がこの規格に参加しており、各社のIEEE 802.11aとIEEE 802.11b対応製品の相互接続性を保証するために互換性テストを行っています。これにパスした製品は「Wi-Fi」ブランドの認定が与えられ、他社製品との互換性が保証されます。

WPA

Wi-Fi Protected Accesの略で、ワイヤレスLANの業界団体のWi-Fi Allianceが提唱するワイヤレスLANの暗号化規格です。
WPAでは、従来のSSIDとWEPキーに加え、認証方式にIEEE 802.1xを採用したクライアントごとにユーザー認証を行う機能や、暗号キーが一定時間ごとに自動的に更新するTKIPという暗号化方式を用いており、暗号キーの生成を複雑にすることでWEPより安全性が強化された規格となっています。

WWW

World Wide Webの略です。インターネットやイントラネットを利用して情報を公開したり、公開されている情報を参照できるようにするシステムのことで、Webとも呼ばれています。
HTMLというマークアップ言語で文書の構造や見栄えを記述し、文書の中に画像や音声など文章以外のデータや他の文書にアクセスするためのURLというリンク情報を埋め込むことができるのが大きな特徴です。

10BASE-T

イーサネットの規格の1つで、10BASE-Tの「10」は伝送速度の10Mbpsを、「T」はツイストペアケーブルを表します。接続の最大セグメント長が100m・カテゴリ3以上のツイストペアケーブルを使用します。

100BASE-TX

10BASE-Tの規格をそのまま受け継いだ100Mbpsのイーサネットです。100BASE-TXは10BASE-Tと同様に、ハブを介して各ノードを接続するスター型で、通信速度は100Mbps、最大セグメント長は100mまでです。

1000BASE-T

IEEE 802.3abとして規定されたイーサネット規格です。10BASE-T、100BASE-TXを発展させて、1Gbpsの通信速度に対応しました。UTPケーブルを使用しており、既存の10BASE-T、100BASE-TXに対応した製品と混合して使用することができます。

画面で見るマニュアルの使いかた

「VAIO 電子マニュアル」には、本書よりも詳しい情報を紹介しています。やりたいことがあるけれど、何をどうすればいいのかわからない場合や、トラブルの解決方法を調べる場合などは、「VAIO 電子マニュアル」をご利用ください。
「VAIO 電子マニュアル」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO 電子マニュアルの使いかた

VAIO 電子マニュアルを表示する

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。



VAIO 電子マニュアルの基本操作

1 大項目を選ぶ
「パソコン本体の使いかた」や「Q&A 集」など、調べたい項目を選びます。

2 目的の情報を選ぶ
表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。
さらに表示される一覧から必要な情報を選びます。

3 表示された説明を読む
画面の右側に情報が表示されます。

ソフトウェアの探しかた

「VAIO ナビ」を使うと、使用目的にあった項目をクリックするだけで、最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。
やりたいことが決まっているけれど、どのソフトウェアを起動すればいいかわからないときなどに便利です。
「VAIO ナビ」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO ナビの使いかた

VAIO ナビを表示する

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリックする。

「VAIO ナビ」が表示されます。



VAIO ナビの基本操作

1 大項目を選ぶ
「テレビ」や「写真」、「音楽」など、やりたいことのジャンルを選びます。

2 目的の内容を選ぶ
表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。

3 ソフトウェアを利用する
ソフトウェアを起動することや、解説を読むことができます。

VAIOカスタマーリンク

使いかたのお問い合わせ　電話番号（0120）60-3399

※詳しくは、別冊の取扱説明書をご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

3-877-549-**01** (1)

